

令和元年度 前期

市民大学講座 受講生募集

市民大学講座とは、茨城大学との連携協定のもと、茨城大学の教員により、市民向けの講座を開催するものです。今年度の前期講座では、「私たちの消費の先にあるもの—ファッションから見る持続可能な生産と消費—」をテーマに講座を開催します。どなたでもお気軽にご参加ください。

私たちの消費の先にあるもの —ファッションから見る持続可能な生産と消費—

私たちの身の回りには、低価格の洋服があふれています。いつしか、私たちはそれらを当たり前のこととして消費するようになっていきます。しかし、こうした洋服が誰によって、どのようにして生産されているかを知っていますか？本講座では、講師が海外（バングラデシュ、インド）、国内の衣服の生産地に赴き、調査・研究してきた成果に基づきながら、その実態についてお話しします。3回の講座を通じて、皆さんがご自身の衣服の消費スタイルを見つめるきっかけをご提供したいと思います。



講師：長田 華子 先生
茨城大学 人文社会科学部
法律経済学科 准教授

専門はアジア経済論、南アジア地域研究、ジェンダー論。2012年3月お茶の水女子大学大学院人間文化創生科学研究科修了（博士：社会科学）。2013年日本学術振興会特別研究員（PD・東京大学社会科学研究所）を経て、2014年4月より現職。2006年4月から1年間ダッカ大学社会科学部女性学・ジェンダー学科に留学、以降バングラデシュの縫製工場で働く女性たちについて研究。現在はバングラデシュに加えて、インド、日本国内の衣服の生産現場で調査するとともに、持続可能な衣服の生産と消費に関する講演にも積極的に取り組む。主な著書は、『990円のジーンズがつくられるのはなぜ？—ファストファッションの工場で見えてきたこと』（合同出版、2016年）、『バングラデシュの工場化とジェンダー—日系縫製企業の国際移転』（御茶の水書房、2014年）。

第1回 11月 6日（水）
「私たちの消費と海外の衣服生産」

第2回 11月13日（水）
「私たちの消費と日本国内の衣服生産」

第3回 11月20日（水）
「あらためて考える、持続可能な生産と消費」

- 時 間 19:00~20:30
- 会 場 常陸大宮市役所 2階 大会議室
- 受 講 料 1500円（講義3回分）
- 定 員 40名（先着順）
- 対 象 者 市内在住又は在勤・在学の方
- 申 込 方 法 10月10日（木）から11月1日（金）までに、受講料を添えて市民協働課にお申し込み下さい。
- 申 込 ・ 問 市民生活部市民協働課
TEL：52-1111（内線126）



氏名（ふりがな）	住所	電話番号	性別	年齢

※本申込書の個人情報について、目的以外には一切使用しません。